

創作プログラムのご案内 受講生を募集します

親子でだるまさんをえがこう

どんなだるまさんを描こうかな?イメージをふくらませ、大きな紙にだるまさんの絵を描きクレヨンや絵の具などで色を塗っていきます。できただるまさんははさみで切り取って壁に貼り、みんなのだるまさんで美術館を彩りましょう。
※できた作品は美術館に展示します。

日時：2月2日(日) ①10時～12時頃 ②14時～16時頃

講師：当館学芸員

対象：5才～小学生の親子 ①②それぞれ8組まで

※ハサミを使います

材料費：300円

会場：美術館実習室

※申し込み受付後の連絡や手紙の発送は行いません。
当日は開始5分前までに汚れてもよい服装で飲み物等を持参の上実習室にお集まりください。

【申し込み受付開始：1月11日(土)～ ※先着順、定員に達し次第締め切り】

触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ

見える人、見えない人一緒に、触ることや話すことを通じて、福島県立美術館の彫刻作品を鑑賞します。
今回は、彫刻家の安藤榮作さんをお呼びして、安藤さんの作品をみんなで楽しめます。

日時：3月9日(日) ①10時30分～12時 ②14時～15時30分頃

講師：安藤榮作氏(彫刻家)、当館学芸員

対象：各回とも中学生以上の視覚障がい者5名程度、晴眼者3名程度

参加費：無料

会場：2階常設展示室、実習室

【申し込み締め切り：3月2日(日) ※先着順】

お申込み
お問合せ

県立美術館 教育普及係

TEL 024-531-5511

美術館総合受付、美術館ホームページからもお申し込みいただけます。

開館スケジュール (○印=休館日)

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	⑫	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	24	⑳	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	22
23	⑳	25	26	27	28	29
30	㉑					

利用案内

開館時間 9時30分 - 17時(最終入館は16時30分)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館) / 祝祭日の翌日 / 年末年始(12月28日～1月4日) / 施設メンテナンスにともなう臨時休館：3月11日(火) - 21日(金)

観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)、高校生以下無料 ※企画展観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。 ※企画展料金で常設展もご覧いただけます。 ※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設展が無料になります。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)付き添いの方1名も無料となります。

交通案内

〈JR福島駅・東口より〉

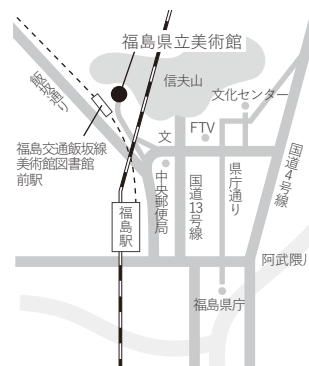
■電車 福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車徒歩2分

■バス 9番乗場より福島交通バス / 市内循環もりん2コース「県立美術館入口」下車徒歩3分

■タクシー 約5分

〈自家用車の場合〉

東北自動車道・福島飯坂ICより市街地方面へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003

福島市森合字西養山1番地

TEL 024-531-5511

FAX 024-531-0447

<https://art-museum.fcs.ed.jp>



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2025.2-3 vol.235

MUSEUM NEWS

福島県立美術館

FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中 企画展示

「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」

2025年1月25日(土) - 3月9日(日)



日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展

2025年1月25日(土)-3月9日(日)

刊行からわずか16年で、累計発行部数1,000万部を超え、子どもたちに広く愛されている絵本「だるまさん」シリーズ。作者のかがくいひろし(1955-2009)は長く特別支援学校の教員を務め、50歳で作家デビュー。その後、急逝するまでのわずか4年の間に、珠玉の絵本を何冊も生み出しました。



『おもちのきもち』2004-2005年
©Hiroshi Kagakui/KODANSHA

没後初の大回顧展となる本展では、絵本原画やアイデアノートとともに、教員時代に手がけた教材や人形劇などの記録をひもとき、今この瞬間にも日本中の子どもたちを笑顔にし続けているかがくい絵本のルーツに迫ります。

★本展会場内は写真撮影・おしゃべりOK★

休館日：月曜日(2月24日は開館)、2月12日(水)、2月25日(火)
観覧料：一般・大学生 600(500)円/中・高校生 300(200)円
/小学生以下 無料 ※()内は20名以上の団体料金

〈関連イベント〉

講演会①「かがくいひろし『マイ・フェイバリット』から見えてくるもの」

日時：1月25日(土) 14時～15時30分
講師：水島尚喜氏(聖心女子大学教授、本展監修者)

講演会②「かがくいひろしの絵本づくりのひみつ」

日時：2月9日(日) 14時～15時30分
講師：沖本敦子氏(子どもの本の編集者、かがくいひろし担当編集者)

※講演会はいずれも会場は当館講堂。聴講無料。事前申し込みは不要です。当日は13:30より開場します。

会期中、大学生による人形劇、おはなしかい、ワークショップ等を開催します。詳しくは当館HPをご覧ください。

THE 新版画

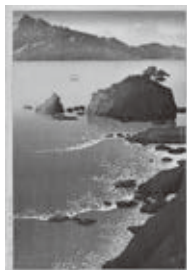
版元・渡邊庄三郎の挑戦

2025年3月22日(土)-5月25日(日)

渡邊庄三郎(1885-1962)は、17歳にして横浜にあった浮世絵商の輸出の出店に勤め、そこで出会った浮世絵の、とりわけバレンで摺る木版画特有の美しさに魅了されると、自ら版元となって独立し、浮世絵研究と販売を行うかたわら、来日した外国人画家の作品を版画化するなど新たな試みを行いました。

そうした経験をもとに、伊東深水や川瀬巴水など鐫木清方門下の新進気鋭の画家たちとともに、江戸時代に確立された絵師、彫師、摺師の協業体制を踏襲しつつも、高品質な材料を用いて、幾度も摺りを重ね、「ざら摺り」という手摺りならではの技法を取り入れた、それまでに無い「新版画」を創始して世に送りました。新版画は昭和の初めごろまで国内外で高い人気を誇り、近年再注目を集めています。

本展覧会では、渡邊木版美術画舗の全面的なご協力のもと、残存数が少ない貴重な初摺の渡邊版約180点をとおして、渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどりながら、今なおモダンで瑞々しい新版画の魅力をご紹介します。



川瀬巴水《旅みやげ第一集 若狭 久出の濱》1920年



フリッツ・カベラリ《黒猫を抱く女》1915年

※2点とも渡邊木版美術画舗蔵

休館日：月曜日(4月28日、5月5日は開館)、4月30日(水)、5月7日(水)
観覧料：一般・大学生 1,000(800)円/高校生 600(500)円/小・中学生 400(300)円
※()内は20名以上の団体料金

*会期中、関連事業を開催します。詳しくは次号ニュース等でご案内いたします。

第Ⅳ期コレクション展

2025年1月7日(火)-3月9日(日)

〈主な展示内容〉

- ・新収蔵作品紹介：松林雪貞、金暎淑
- ・関根正二、佐藤玄々と近代の美術
- ・絵本を描いた美術家：佐藤忠良、朝倉摂ほか
- ・ベン・シャーンとアメリカ美術：《ラッキードラゴン》ほか
- ・斎藤清《会津の冬》シリーズより
- ・柄澤齊《死と変容》シリーズより



松林雪貞《菊図》制作年不詳



金暎淑《人魚》2005年

◆ゲストトーク

展示作家をお招きして作品についてお話しいただきます。

① 金暎淑トーク

日時：2月8日(土) 14時～(40分程度)
講師：金暎淑氏(美術家、当館収蔵作家)

② 安藤榮作トーク

日時：3月8日(土) 14時～(40分程度)
講師：安藤榮作氏(彫刻家、当館収蔵作家)

※いずれも会場は2階常設展示室B。事前申し込みは不要です。当日は観覧券をご購入の上、お集まりください。

◆常設トーク | 2月16日(日) 11時～11時40分

コレクション展の展示作品について解説いたします。
講師：当館学芸員

会場：2階常設展示室

※観覧券をご購入の上、展示室入口にお集まりください。